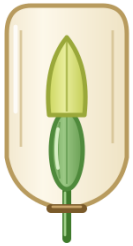
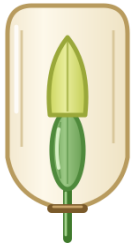
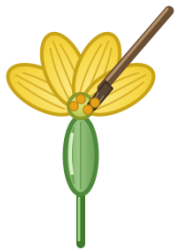
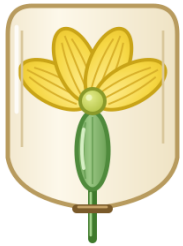
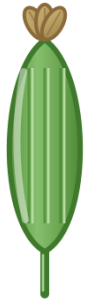
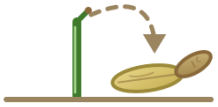
受粉のあるなしと実のでき方

めばなに花粉がつかないと、実はできるのだろうか。どう確かめればよいだろう

	A　花粉をつける	B　花粉をつけない
1 つぼみのとき	 あすさきそうなつぼみに、袋をかける	 あすさきそうなつぼみに、袋をかける
2 花がさいたら	 袋をとり、花粉をつけて、また袋をかける	 袋をかけたまま（花粉をつけない）
3 数日後（しぼんだら袋をとる）	 **めしべのもとがふくらんで、実ができた**	**実ができず、かれて落ちた** 

変える条件

花粉をつけるか、つけないか

そろえる条件

- どちらも袋をかける
- 同じころのつぼみを選ぶ
- 同じように育てる

袋をかけるわけ

虫や風で、ほかの花粉がついてしまわないようにするため

結果から分かること

花粉がめしべの先についた（受粉した）Aだけが実になった。

実ができるには、受粉が必要

※ 模式図。ヘチマのめばなの例。実が大きくなるまでの日数は、気温などによってちがう。